

第3期裾野市教育振興基本計画(案)に対する意見募集結果について

(教育部教育総務課)

「第3期裾野市教育振興基本計画(案)」について、パブリックコメントを実施したところ、下記のようにご意見をお寄せいただきました。

意見の概要と、それに対する市の考え方を公表します。なお、いただいたご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

1 募集期間

令和7年12月12日(金曜日)～令和8年1月13日(火曜日)

2 意見の提出方法と件数

提出方法	人数(人)	件数(件)
担当課または支所に直接提出	0	0
市役所情報公開コーナー意見箱	0	0
郵送	0	0
ファクス	0	0
メール	0	0
パブリックコメント提出フォーム	3	5
計	3	5

3 意見の概要と市の考え方

別紙のとおり

【問い合わせ】

教育部教育総務課

電話：995-1837

No	ページ	該当箇所	意見	意見に対する市の考え方
1	P27～	基本理念 活動指標 進捗管理	<p>本計画（案）が掲げる「共に学び、つながり合い、多様な個性を活かしながら、未来を拓く人づくり」という方向性に賛同します。学校・家庭・地域が連携し、子供と市民の学びを支える方針は、今後ますます重要になると考えます。</p> <p>意見① 重点施策の「効果判定」と「成果の説明」を明確化してほしい</p> <p>計画の実効性と説明責任を高めるため、重点施策の効果判定の方法について、計画本文または別冊資料等で明確化していただきたいです。また、「どの程度その取組が成果に寄与したと説明できるか」を示す枠組みを整えることが重要だと考えます。</p> <p>意見② 「多様な個性を育てる」ための地域の”寛容さ”の醸成を、社会教育として位置づけてほしい</p> <p>多様性を尊重し個性を伸ばすためには、学校内の教育だけでなく、地域社会の側に「違いを認め合う」土壌が必要です。そこで、社会教育の取組みについて、明確に盛り込むことを提案します。また、そのような取組みが進んでいるかを確認するための指標も検討してほしいです。</p> <p>意見③ 点検評価の透明性を高めてほしい</p> <p>毎年度の点検評価について、結果が市民に分かりやすく伝わるよう、目標に対する達成状況・実施内容・課題と次年度の改善点をセットで公表し、計画が「回っている」ことが見える形にしていきたいです。</p>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>意見① 計画を推進していく中で、施策の効果判定の方法等の可視化を検討して参ります。</p> <p>意見② 本計画（案）で、社会教育に関して「方針 3 地域とともにある教育」の中で、「取組の方向性」や「年齢に応じた取組の方向性」として掲げていますが、地域の”寛容さ”の醸成について、追記します。</p> <p>意見③ 点検評価については、毎年、前年度の活動実績や課題、今後の取組みの方向性等を取りまとめた「点検評価報告書」を作成し、評価委員会による評価を行っています。評価結果については、市のウェブサイトで公開していますが、計画を推進していくうえで、わかりやすく伝わるよう、ご意見の反映に努めます。</p>

No	ページ	該当箇所	意見	意見に対する市の考え方
2	P55 P57 P62	第 5 章 IV- I （2） IV-2 教育を支える 基盤づくり 第 6 章 1 計画の推進体制	<p>教職員の働き方改革を加速させ、「GIGA スクール第 2 章」に対応した質の高い教育環境を実現するため、学校 DX を専門的に統括する「教育 CIO（最高情報責任者）」の設置、またはそれに準ずる推進責任者の配置を計画に盛り込むことを提案します。</p> <p>計画の実現に向けて、第 6 章に示された「推進体制」の中に、専門的知見から DX を推進する責任者の配置を明記することを強く望みます。</p>	ご意見、ありがとうございます。いただいたご意見は計画を推進するうえでの参考とさせていただきます。
3	P40	第 5 章 II- I （1） 多様性に満ちた教育	<p>本計画（案）では、不登校支援や多様な学びへの配慮が重要な課題として示されており、その方向性は評価できると考えます。一方で、「居場所」という言葉が用いられているものの、その具体的な位置づけや役割がやや分かりにくいと感じました。</p> <p>学校以外の居場所を「一時的な受け皿」ととどめず、子供の学びと育ちを支える教育資源として明確に位置づけることで、不登校支援の実効性が高まることを期待します。</p>	ご意見、ありがとうございます。不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、子供の居場所としての選択肢を増やすこと、学校だけではなく、地域活動への参画など、組織として対応する体制が整うよう努めます。「すその COCOLO プラン」において、不登校のどの段階で、どのような場所で役割を担うかについて詳しい内容を掲げさせていただきました。